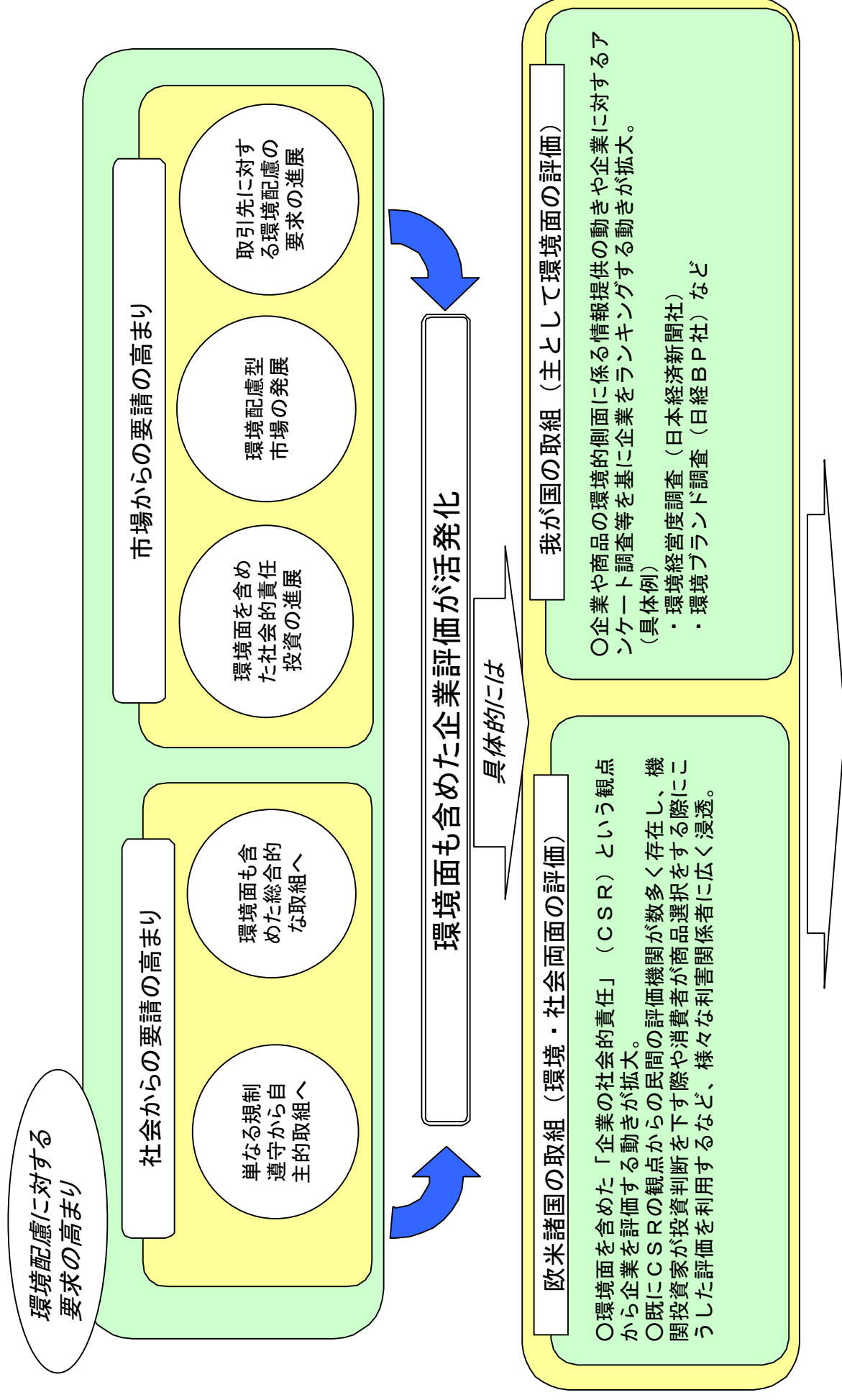


3.環境配慮の取組に対する外部評価の進展



環境面も含めた総合的な企業価値が評価されるような対応が求められる時代へ

① 環境配慮の取組に対する外部評価の類型

①金融市場における評価

ア. 投資市場での評価

- ・ エコファウンド
 - ・ SRI ファウンド
- 評価機関等の評価結果を反映して組み入れ銘柄が決定される。

イ. 融資・保険契約上の評価

- ・ 融資審査での企業の環境リスク評価、成長性評価のための環境経営評価
- ・ 一般保険引受での環境リスク評価、新規補償機会獲得のための環境経営評価

②商品市場での評価

ア. サプライチェーンでの評価

- 調達基準への適合
- ・ 素材の調達
 - ・ ライフサイクルアセスメントの取組
 - ・ 環境マネジメントシステムの構築

イ. 消費者からの評価

- グリーン購入に関連する評価
- ・ グリーン・コンシューマー・ガイド
 - ・ 企業の社会的責任面を評価
- 利用者は投資家、消費者（商品選択にも参考となる）

③一般社会からの評価

ア. ブランド力評価

- ・ 環境経営度ランキング（日本経済新聞社）
- ・ 上場、非上場の製造業有力企業を対象に調査を実施、ランキング
- ・ 環境ブランド調査（日経 BP）
- ・ 各業種の売上上位企業 560 社
- ・ 消費者、ビジネスマンの評価結果をランキング
- ・ トーマツ審査評価機構
- ・ 環境報告書発行 330 社（2003 年）
- ・ 公開情報（環境報告書）から評価
- ・ AAA～C の 9 ランクで格付け、上位公表 等

イ. 社会的公正等に関連する評価、風評

- ・ バルディーズ号事件
- ・ ナイキ事件
- ・ シェル：北海油田石油貯蔵施設海洋投棄事件 等

② 日本政策投資銀行による環境配慮型経営促進事業の事例

環境配慮型経営促進事業の概要

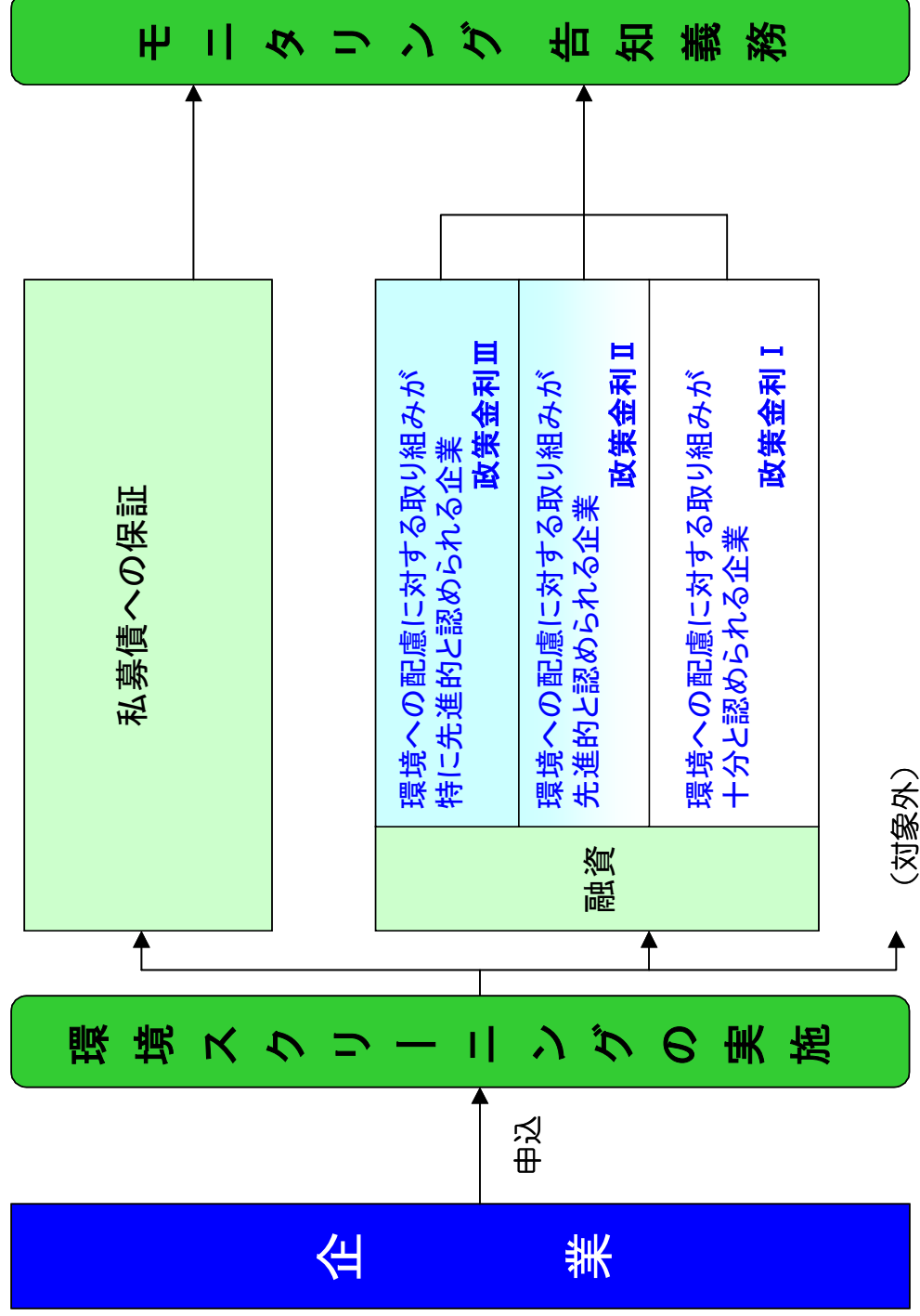
(1)環境配慮型経営を行っている企業を選定 スクリーニング評価（次頁）により環境配慮型経営度を評点化 ①経営全般（ガバナンス・パートナーシップ・情報開示等） ②事業関連（研究開発・サプライチェーンマネジメント・リサイクル等） ③環境パフォーマンス（温室効果ガス・水資源・廃棄物等）	約 100 の評価項目
(2)環境負荷低減に資する事業活動を幅広く支援 (3)融資対象企業の環境配慮型経営をモニタリング	

環境配慮型経営促進事業の特色

(1)わが国で初めて「環境格付け」の手法を用いた融資制度を創出 (2)社債保証にも活用 (3)環境省の「環境パフォーマンス指標ガイドライン」に準拠 (4)中堅・中小企業の利用に資する配慮 (5)製造業・非製造業の各業種に対応する項目の設定 (6)特に優れた事例に対応するため加点項目を整備
--

日本政策投資銀行資料より作成

環境配慮型経営促進事業のスクリーニング評価のフロー



日本政策投資銀行資料より作成